

研究 スキル	計算スキル	数学の基本的な考え方を身に付けており、数学的な問題を分析したり、解を導いたりすることができる。
	プログラミングスキル	自分でプログラムやアプリケーションを組んで、コンピューターを使ったデータの解析やモデリング、シミュレーション等を行うことができる。
	実験・観測スキル	実験や観測（計測・フィールドワーク含む）の計画を立てたり、それを実行したりすることができる。
	調査スキル	インタビューやアンケート、参与観察といった調査の計画を立てたり、それを実行したりすることができる。
	工学スキル	研究で用いる機器・ツールを設計したり、組み上げたりすることができる。
	データ分析スキル	数学や統計学、プログラム等を用いてデータを分析したり、その結果を解釈したりすることができる。

汎用的 コンピテンシー	論理的思考	概念や事実を正しく理解したうえで、そこから論理的に結論を導くようにしている。
	複眼的思考	世の中の「当たり前」(常識・定説)を多角的に見直して、物事の本質をつきつめて考えている。
	一般的コミュニケーション力	自分の伝えたいことを他者にわかりやすく説明したり、相手の伝えたいことを適切に理解したりすることができる。
	英語でのコミュニケーション力	英語を使って、自分の自分の伝えたいことをわかりやすく説明したり、相手の伝えたいことを適切に理解したりすることができる。
	プレゼンテーション力	ポスターやスライド、そのほかのプレゼンテーションツール等を駆使して自分の考えを効果的に聴衆に伝えることができる。

研究 コンピテンシー	知的好奇心	興味のある事柄について自発的に調べたり、学習したりする。
	原理・法則への探究心	単に目の前の事実やデータを追うのではなく、その背後にある原理や法則をつきつめて考える。
	粘り強い試行錯誤	思うような結果が出ないときも、簡単に投げ出さずに試行錯誤を重ねる。
	チャレンジ精神	難問に挑戦することを恐れず、試行錯誤や困難の克服にやりがいや楽しみを見出そうとしている。
	自律的プランニング	自分やチームの研究プランを自ら策定する。
	自律的プロジェクト管理	自分自身の判断や責任のもとで、研究計画の運用・遂行する。
	指導・支援	研究チームのメンバーに対して、必要に応じてノウハウを提供したり、相談に乗ったりする。
	ネットワーク構築	大学、研究室の垣根を越えて、様々な人と連携する。
	異文化協働	自分とは違う社会的背景（例：国、宗教、専門分野）を持つ人と連携する。